

ひとりで悩まないで！

本当に、愛犬を
手放さなければ
ならないのでしょうか

犬を継続して飼えなくなる理由は、さまざまです。転勤先で犬を飼えない。家族がアレルギーになった。飼い主が入院（または死去）した。失業した、等々。こうした家庭の事情もあれば、犬が家族を咬んで手に負えない。吠え続けて近隣トラブルになった。不治の病にかかった。高齢で痴呆になったなど、犬の問題行動や病気に悩む人もいます。

家族として迎え、ともに暮らした愛犬のことです。ひとりで悩んだり、飼育放棄する前に、飼い主として、まだ何かできることがあるのではないのでしょうか。



相談に乗ってくれる
人たちは
こんなにあります

問題が生じたら、もう飼えないとあきらめる前に、身近な人や専門家に相談しましょう。まずは、獣医師やトリマーと話してみてください。その他、動物看護師、ドッグライフカウンセラー、ドッグトレーナーなど、ペット問題の専門家もいますので、インターネットなどで調べてみてはいかがでしょうか。

相談内容によっては、しかるべき専門家を紹介してくれることもあります。また、地方自治体の動物愛護（管理）センターなどでも相談に乗ってくれます。飼い主仲間にも、同じ悩みを分かち合える人がいるかもしれません。

第三者に話すことで、解決策が見つかるかもしれません。理解者を得て、情報の輪が広がることも期待できます。